

イベント報告

10月28日、エクラ初のミュージカルが幕を開けました。この事業は、小野おやこ劇場25周年記念例会も兼ねて開催。実行委員長であり、小野おやこ劇場代表でもある藤原國子さんに事業の報告をしていただきました。

イツフォーリーズ公演 ミュージカル「おれたちは天使じゃない」

—事業を終えられていかがですか？

たくさんの方に好評をいただいてホッとしています。

—前日にチケットは完売。そのうち300席近くは小野おやこ劇場の関係者だったと聞いていますが、それだけの人に足を運んでいただけた要因は？

6月に実行委員会を結成してから約5ヶ月間、チケットを持って走り回りました。25年間に会ったメンバーを1軒1軒たずねて回ったんです。そういう人が来てくれたことがうれしかったですね。25年間培ってきた土壌があったからできたことだと思います。それと、作品に自信を持つこと。これもとても大切ですね。自分が「素晴らしい」と思う作品でない人には薦めることができない。そして一番大きな力になったのは近隣のおやこ劇場の協力を得たことです。

—広報の手法として工夫されたところは？

広報も大事ですが、自らの手で広めていくことが最も重要だと実感しました。待っていてもチケットは売れません。1にも2にも口コミにこれに尽きますね。あらゆる伝手を駆使したんですよ。また、いろいろな集まりの場で、地道にコツコツPRしていたことが実を結んだのではないのでしょうか。

—これからの課題は？

「実行委員会をどういうふうにするか」ということです。企画だけでなく、事業を成功させるとなったら行動に移すことがとても重要。メンバー一人一人が動くようにするにはどうするか？心から参加してくれる人をどういうふうにするか？思いも行動力もあるメンバーが実行委員会として集まれば素晴らしい事業ができると思います。



—事業を終えて...

会員数が減少し、「25周年なんてとてもできない」と諦めていたときに、エクラがオープンし、今回のミュージカルを支援センターから「一緒にやりませんか？」と声をかけていただきました。支援センターと一緒に事業を行ったことは、おやこ劇場の活動を継続させていくための礎になったと思います。

また、支援センターではいくつかの事業を実行委員会主体で行なっておられますが、大変良い方法だと思います。私も、実行委員会ができたことで、「さあやろう！」というスタートが切れました。

「人」の力を実感した半年でした。いろんな人が関わってくれることによっていろんなことが可能になりました。チケット売りからパソコンでの作業、会計まで、それぞれが自分のできることをしたことが積み重なって成功に繋がったと思います。



かけはし新聞



物語は、3年前に通る。小野市に完成するエクラホールの準備委員会として、「夢発信委員会」が発足した。メンバーのほとんどが主婦のボランティアである。そんな私たちが数ある候補の中から「こけら落とし」に選んだのが、「梯剛之ピアノリサイタル」だった。

そして2年前、「エクラホールのピアノを選定して欲しい」という依頼に、梯さんは快くOKしてくださった。エクラにサイン入りのスタインウェイが届き、私たちが初めてのポスター、チラシ、プログラムノートづくりに四苦八苦しなながら、2005年4月29日を迎えた。コンサート当日、鳴り止まない演奏の聴衆からの拍手に、梯さんは5曲のアンコールで応えてくださった。翌年、「夢発信委員会」から「梯剛之ピアノリサイタル」

が独立した。そして、2006年4月29日。2度目のコンサートは前年よりさらに素晴らしい演奏だったにも関わらず、空席が目立った。

「来年はどうする？」私たちに多くの課題が残された。「もう一度、エクラで梯さんのピアノを聴きたい。」でも、酒席にするのは大変なこと、私たちはボランティアであって、興行師ではない。これ以上がんばるのはしんどい。そんな本音を聞かされていく中、コンサート時のアンケートに書かれていた熱い声援を支えにして、「来年もやろう！」ということになった。

しかし、気持ちだけでは何も動かせない。行動を起こす。かたちにする。熱意を伝える。私たちは3年目にして、ようやくボランティアの自立の第一歩を踏んだ。自分たちの頭で、何ができるのかを真剣に考えるようになった。そこから、「ゼミナール梯剛之〜魂の響き〜」と「かけはし新聞」が生まれた。梯さんのピアノへの感動を、ひとりでも多くの人と分かち合えたい。それだけの思いで、ここまでできたと思う。たくさんの失敗や頭打ちを経験しながら、「本当にやりたいのか？」という突きつけられるものがあつたから、ここまでこれたと思う。

かけはし新聞

ゼミナール 梯剛之〜魂の響き〜 vol.1 ピアノリサイタルを成功させよう！

「もう一度聞きたい」エクラを埋めた感動の声・声

2005年4月29日。オープンしたばかりのホールに梯剛之さんのピアノが鳴り響いた。このピアノで間違っただけで、自ら選んで下さったスタインウェイである。満席の熱い拍手に呼応して、アンコールが五曲。最後のショパンの「ノクターン8番」に涙した。ホールから出てこられた人、人、人。

そして、2006年4月29日。「僕の第三回目のコンサート」と言われていた小野で、「2回目は素晴らしい！」エクラにお越し頂いた方々のアンケートから、その声をお届けします。

涙がでるほど美しい音色、五色か七色の音色に「神の指」ですね。

「まさしく5曲はすばい」

思いのこもった生きた音色です。梯さんの純粋な思いがよく伝わってきました。

すくくわらわらわら、やさしい梯さんの独特の音楽でした。本当に感動しました。

「素晴らしい！」エクラにお越し頂いた方々のアンケートから、その声をお届けします。

涙がでるほど美しい音色、五色か七色の音色に「神の指」ですね。

「まさしく5曲はすばい」

思いのこもった生きた音色です。梯さんの純粋な思いがよく伝わってきました。

すくくわらわらわら、やさしい梯さんの独特の音楽でした。本当に感動しました。

「素晴らしい！」エクラにお越し頂いた方々のアンケートから、その声をお届けします。

ようこそ「ゼミナール」へ

- 第1回 2007.1.15 14:00~15:00 「誕生、そして失明」
- 第2回 2007.2.4 14:00~15:00 「音楽との出会い、そしてウィーンへ」
- 第3回 2007.3.12 14:00~15:00 「プロデューサー、そして夢の舞台へ」

小野市うるおい交流館エクラ2F会議室にて3回シリーズで行います。ぜひ、いらして下さい。

梯さんの著書「いつも僕のはなは光」（角川書店）から朗読とナレーションで、梯剛之人間ドキュメントをお送りしたいと思います。

「この本は、僕が現実歩んできた道のりを振り返って書いたものです。中には困難なこともありました。苛酷な現実と否応なく向き合ねばならないこともありました。でも、そんな時でも、感動があるからこそ、音楽を続けてきました。この本を手にして下さった読者の皆様とも、いつの日か、その感動を分かち合えればとてうれしく思います」

できればまるごと一冊、お越し頂いた皆さんと共に読み進めながら、梯さんにとっての「光」を、ひとりでいきたいと思ひます。

例会報告

Regular meeting report

9月
11月

これまで毎月の例会を、例会委員会が担当してきましたが、本年1月例会から、クスクスアルシェの各委員会・チームが例会を担当することになりました。より多彩で個性のある例会を、また、より多くの方に興味を持っていただける例会を開催しようとの思いから、各委員会に担当をお願いしています。

9月 例会



担当 広報委員会

9月21日午後7時30分から「手打ちそばと観月の夕べ」と題して、「ぶらっときずみの」の皆さんを講師にお迎えし、9月例会を開催いたしました。6つの班に分かれてそば粉を練り、伸ばして、切るという工程で行ないましたが、細いそば、太いそば個性豊かなそばが出来上がりました。普段あまり見ることが出来ない男性陣のエプロン姿がとても素敵で、終始和気あいあいとしたムードの中、自分で打ったそばの味は格別でした。

10月 例会



担当 エクラガイドボランティア委員会

10月13日午前10時から10月例会を行いました。

夜の行事には参加が難しい会員さんも多いことから、今回の例会は初めて午前中に企画してみました。

テーマは「我が家の家計を見直そう」。委員でもあり、シニアライフアドバイザーでもある水島慶子さんに、損をしない年金の受け取り方や保険などについてお話をいただきました。身近でありながら、なかなか聞く機会がなかったテーマに、皆さん真剣に耳を傾けられ、多くの質問が出ました。

今回初めてお会いする会員さんも多く、支援センターを通じてできたつながりを大切にしたいと思った例会でもありました。

11月 例会



担当 ガーデニング委員会

11月10日午後7時30分から、ガーデニング委員会担当による例会を開催。今回のテーマは、「みんなで楽しく飾ろう寄せ植えガーデン」。フラワーマイスターエクラ班の6名の皆さんにご指導いただきながら、参加者みんなで季節の花の寄せ植えを体験しました。4つのグループに分かれて、高さ80cmほどの鉢に5種類の花を寄せ植えしていくのですが、寄せ植えしていく過程も面白く、出来上がった作品を見ると一層の感激がありました。

事務局より

寒い日が続きますが、みなさんお元気で過ごしてはいかがでしょうか？今年度も残すところあとわずかとなりました。本号のイベントカレンダーに記載している事業の他にも、「市民活動活性化事業」や小野市社会福祉協議会と共催で取り組む「北播磨地域自然指導員育成事業」など、新たな分野の事業を実施予定です。ホームページやブログで随時情報を更新する予定ですので、ぜひご覧ください！！

総会の日程が決まりました。

平成18年度総会を平成19年5月20日に開催することが決まりました。クスクスアルシェの方向性を定めるうえで最も重要な総会。正会員のみならず、ご出席の程よろしくお願ひいたします。

「平成19年度エクラ友の会」会員募集!

クスクスアルシェが指定管理者をつとめる小野市うるおい交流館エクラでは、より多くの方にエクラに親しんでいただけるよう、「エクラ友の会」を設けています。平成19年度会員は2月から募集を開始します。詳細は次号でお知らせします。